



15久保
亀山 春夫 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答
高齢者に対する
支援事業について

Q 我が国は、急速な高齢化が進行しており、佐野市においても、総人口における65歳以上の人口比率(高齢化率)は、平成29年度には28.9%に達する見込みだ。高齢者の生活の質の向上を図るための佐野市高齢者生きがい活動支援通所事業は、どのようなものがあり、どのような活動が行われているのか。

A 健康医療部長

高齢者生きがい活動支援通所事業は、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通いの場を設けて社会的孤立感の解消、自立生活の助長、要介護状態になることの予防を目的としており、いきいき元気館さの、堀米高齢者はつらつセンター、葛生あくど保健センター等を会場に実施しています。活動内容は教養講座、スポーツ活動、創作活動、趣味活動などを行っています。

その他の質問

☆単身世帯の急増について



▲いきいき元気館さの



木村 久雄 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答
アレルギー対策
について

Q 放課後子どもクラブの児童支援員に対し、アレルギー対策研修が行われているのか、伺いたい。

A こども福祉部長

市の保育課で主催している食物アレルギー研修会に、こどもクラブ指導員を参加させ、食物アレルギーに対する知識と技術の向上を図っています。

また、県で実施している放課後児童支援員認定資格研修を順次受講するようにしています。その中で放課後児童クラブにおける安全・安心への対応として、アレルギー等について受講をしています。今後は、アレルギー対策に関する独自の研修実施も含め、指導員の資質の向上に努めてまいります。

その他の質問

☆読書環境の向上について
☆太陽光発電設備に関する防災対策について



春山 敏明 議員(新風)

質問方式
一問一答
消防団サポート事業
について

Q 「消防団サポートカード」の活用状況は、飲食や物品の購入に利用した団員もいるが、「トレーニングジムの割引券等があれば」との声があった。団員は火災・災害等の出場や訓練時、常に危険が付きまとうことから、トレーニングをして身を守り任務を大過なく済ませたいとの思いや、家で無事の帰りを待つ家族を安心させたい為との声と思う。今後トレーニングジム等とも交渉を行い、協力店に加盟してもらいたいだろうか。

A 消防長

消防団員の希望する店舗や施設等を協力店として登録することは大変メリットのあることと考えています。今後は消防団員からの意見等を広く聴取させていただき、要望に沿えるよう協力店の拡充に努めてまいります。

その他の質問

☆佐野市市有施設適正配置計画(案)について
☆火の見やぐらの維持管理について
☆観光立市、スポーツ立市、産業・文化立市としての案内看板設置について
☆介助者へのロボットスーツ貸出の制度化について



▲消防団サポートカード